

平成29年度(1月1日～12月31日)

事業報告書

公益財団法人 日本相撲協会

目 次

I. 法人の概況	
1. 設立年月日	1
2. 定款に定める目的	1
3. 定款に定める事業内容	1
4. 会員の状況	1
5. 主たる事務所の状況	1
6. 役員等に関する事項	2
7. 職員等に関する事項	3
II. 事業の状況	
A 公益目的事業	
1, 相撲競技の公開	
(1) 力士の相撲競技の公開実施	3
2, 人材の育成	
(1) 力士、行司、呼出、床山の養成	4
(2) 相撲教習所の維持運営	7
3, 指導普及活動	
(1) 青少年、学生に対する相撲の指導奨励	8
(2) 草津相撲研修道場の維持運営	14
4, 相撲記録の保存及び活用	
(1) 広報部の運営	15
(2) 相撲道に関する出版物の刊行	17
(3) 相撲博物館の維持運営	17
B 収益事業	
1, 貸館事業	
2, 広告・物販事業	
3, 一般外来診療	
C その他の事業	
1, 年寄、力士および行司等の福利厚生	19
2, その他の活動	20
III. 法人の運営・管理	
1, 役員会等に関する事項	
(1) 理事会	21
(2) 評議員会	22
(3) 横綱審議委員会	22
2, 維持員制度の維持運営	23
3, 国技館の維持運営	23
4, 暴力団等反社会的勢力の排除の徹底	23
5, 重要な契約に関する事項	24
6, 正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移	24
IV. 法人の課題	24
V. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実	25

事業報告

I. 法人の概況

1. 設立年月日

大正14年12月28日 財団法人 大日本相撲協会設立
昭和32年12月 1日 財団法人 日本相撲協会へ名称変更
平成26年 1月30日 公益財団法人 日本相撲協会へ移行

2. 定款に定める目的

この法人は、太古より五穀豊穰を祈り執り行われた神事(祭事)を起源とし、我が国固有の国技である相撲道の伝統と秩序を維持し継承発展させるために、本場所及び巡業の開催、これを担う人材の育成、相撲道の指導・普及、相撲記録の保存及び活用、国際親善を行うと共に、これらに必要な施設を維持、管理運営し、もって相撲文化の振興と国民の心身の向上に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 本場所及び巡業の開催
- (2) 相撲道の伝統と秩序を維持するために必要な人材の育成
- (3) 相撲教習所の維持、管理運営
- (4) 青少年、学生等に対する相撲道の指導普及
- (5) 相撲記録の保存及び活用
- (6) 国技館の維持、管理運営
- (7) 相撲博物館の維持、管理運営
- (8) 相撲診療所の維持、管理運営
- (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 会員の状況

(ア) 平成29年度末の会員(維持員)の状況

	東京	大阪	名古屋	福岡	当期末 合計	増減
普通維持員	269名	263名	234名	213名	979名	▲9名
団体維持員	30名	37名	62名	37名	166名	5名
特別維持員	1名	0名	0名	0名	1名	0名
未加入	0名	0名	4名	0名	4名	4名
合計	300名	300名	300名	250名	1150名	0名

(イ) 維持員の確認審査

6年毎に行う。

(ウ) 維持費(寄付金)

東京地区 6ヶ年分 1名あたり 4,140,000円(平成28年～33年)
地方地区 6ヶ年分 1名あたり 1,380,000円(平成29年～34年)

5. 主たる事務所の状況

東京都墨田区横網一丁目3番28号

6. 役員等に関する事項

平成29年度末現在の常勤役員は、次の通りである。

役職	氏名	年寄名	担当職務・現職	常勤・非常勤
理事長	保志 信芳	八角	協会全般	常勤
理事	中山 浩一	尾 車	事業部長 全国維持員会会長 博物館運営委員	〃
〃	花田 光司	貴乃花	巡業部長	〃
〃	黒谷 昇	鏡 山	総合企画部長 指導普及部長 生活指導部長 監察委員長 危機管理部長 博物館運営委員	〃
〃	杉野森 正也	伊勢ヶ濱	地方場所部長(大阪)	〃
〃	日高 六男	二所ノ関	審判部長(ドーピング委員長) 新弟子検査担当	〃
〃	小林 秀昭	境 川	地方場所部長(福岡)	〃
〃	総田 清隆	春日野	広報部長 総合企画部長 警備本部長 博物館運営委員	〃
〃	小岩井 昭和	出羽海	地方場所部長(名古屋)	〃
〃	平野 兼司	山 響	教習所長	〃
〃	山口 寿一	-	会社役員	非常勤
〃	今井 環	-	団体役員	〃
〃	高野 利雄	-	弁護士	〃
監事	岡部 観栄	-	興山寺住職	〃
〃	神山 敏夫	-	公認会計士	〃
〃	梶木 壽	-	弁護士	〃
副理事	志賀 太祐	玉ノ井	巡業部副部長 警備本部副部長 新弟子検査担当	常勤
〃	青木 康	芝田山	広報部副部長 巡業部副部長 警備本部副部長 新弟子検査担当	〃
〃	尾曾 武人	藤島	事業部副部長 審判部副部長(ドーピング防止副委員長) 博物館運営委員 新弟子検査担当	〃

会計監査人	東陽監査法人
-------	--------

7. 職員等に関する事項

平成29年度末現在の職員は、次の通りである。

職員数		前期末比較	平均年齢	平均勤続年数
男子	38名	+2名	45歳	13年
女子	12名	+2名	41歳	9年
合計	50名	+4名	44歳	12年

II. 事業の状況

A 公益目的事業

1, 相撲競技の公開

(1) 力士の相撲競技の公開実施

(ア) 本場所の実施

年6本場所制を採用し、次の通り相撲競技を公開実施した。

平成29年度本場所日程

場所別	番附発表	初日	千秋楽	開催場所
一月場所	12月26日	1月8日	1月22日	国技館
三月場所	2月27日	3月12日	3月26日	エディオンアリーナ大阪
五月場所	5月1日	5月14日	5月28日	国技館
七月場所	6月26日	7月9日	7月23日	愛知県体育館
九月場所	8月28日	9月10日	9月24日	国技館
十一月場所	10月30日	11月12日	11月26日	福岡国際センター

- ① 本場所相撲は、NHKのテレビ・ラジオで実況放送した。
- ② 相撲競技の勝負判定の公正を期すため、取組映像のVTRを使用した。
- ③ 入場者に対して当日の取組表を配布。外国人用「英文取組表」のデザインを一新した。
- ④ 各国使節団、在日外交官等の相撲観覧には積極的に便宜を与え、諸外国との親善に寄与すると共に国技相撲の紹介に努めた。
- ⑤ インターネットスポーツ専用チャンネル「スポナビライブ」にて、国内外に向けて全本場所の序ノ口から結びの全取組を実況配信した。
国内外の入場券需要に応えるため、オンライン発券システムやインターネットによる販売環境を整えた。また日本語版、英語版による入場券販売告知の充実に努めた。

(イ) 巡業の実施

本場所開催地以外の地方巡業による相撲競技を公開実施した。

① 巡業の実施状況は、次の通りである。

春巡業	夏巡業	秋巡業	冬巡業	合計
小牧市	岐阜市	八千代市	大村市	

加東市	草津市	横浜市	五島市	
宝塚市	豊田市	さいたま市	直方市	
姫路市	富山市	富士市	宇佐市	
藤沢市	新発田市	筑西市	宮崎市	
静岡市	佐渡市	浜松市	熊本市	
三島市	長岡市	一宮市	鹿児島市	
横須賀市	本庄市	長野市	北九州市	
川崎市	青山学院	金沢市	宮古島市	
松本市	日立市	京都市	宜野湾市	
高崎市	上山市	高山市		
常陸大宮市	仙台市	津市		
柏市	青森市	香芝市		
水戸市	板柳町	枚方市		
八王子市	恵庭市	岸和田市		
町田市	札幌市	大阪市		
深谷市	旭川市	岡山市		
超会議幕張	お台場	養父市		
	小田原市	鳥取市		
	所沢市	松江市		
	KITTE丸の内	広島市		
		福山市		
計18ヶ所	計21ヶ所	計22ヶ所	計10ヶ所	計71ヶ所

② 特別興行

2月5日(日)、フジテレビ主催の「日本大相撲トーナメント」を開催した。

③「大相撲beyond2020場所」開催

内閣官房推進本部の委託事業による「2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会」試行プロジェクトとして、平成29年10月4日「大相撲beyond2020場所」を開催し、外国人や障がい者を主な観客として招待し、大相撲の魅力を国内外に発信した。

キッズ : 1,180名

シニア : 1,065名

外国人 : 368名

障がい者 : 746名

溜車イス等 : 633名 合計 : 3,992名

本年度は、溜席エリアに車イス席を設置、スマートフォンによる字幕案内など、新しい試みを実施した。

2. 人材の育成

(1) 力士、行司、呼出、床山の養成

(ア) 力士の養成

① 新弟子検査は、本場所毎に年6回、実施した。

・新弟子検査基準

身長167センチ以上、体重67キロ以上。但し、三月場所新弟子受検者で、中学校卒業見込者に限り、身長165センチ以上、体重65キロ以上とする。

・本年度は合計90名を力士として登録した。また、引退した力士は73名である。

② 新規登録力士は、相撲教習所で6ヶ月間教習するほか、各相撲部屋に配属して養成した。

③ 力士養成のため、各相撲部屋に相撲部屋維持費・稽古場経費を、また、幕下以下の力士養成のため、養成員養成費を支給した。

④ 十枚目以上の力士には給与・力士補助費・力士褒賞金を支給するほか、三役以上の力士には本場所特別手当を支給した。

・横綱綱代は師匠に実費を支給した。

・幕下以下の力士には本場所毎に場所手当を支給するほか、幕下以下奨励金を支給した。

⑤ 十枚目以上の力士を養成した師匠には養成奨励金を支給し、力士養成を奨励している。

⑥ 本場所毎に各段優勝者および三賞受賞者には賞状および賞金を支給した。

⑦ 力士数は、次の通りである。

11月場所力士数	
横綱	4名
大関	2名
三役	5名
幕内	31名
十枚目	28名
幕下	120名
三段目	199名
序二段	207名
序ノ口	49名
番附外	21名
計	666名

6場所平均力士数	
平成29年度	669名
前期末比較	+7名

(イ) 土俵を中心とした施策

本年度も土俵の充実を図り、土俵の美を実現し、国技相撲を維持発展させることを目標に、次の事項を実施した。

① 力士等に国技としての正しい相撲の在り方および相撲技術、土俵態度その他について常に研修、指導している。

② 「力士の心得」・「巡業の心得」・「協会のあり方」を指針として、力士等の精神面の指導を行った。

③ 師匠会を東京本場所後に開催し、各本場所および本場所間の状況をもとに、力士等に対する指導監督の成果を検討し、必要事項を指示すると共に、是正事項に対する施策を協議する等、師匠会の活用を一層強化した。

④ 協会幹部は、力士会等に積極的に出席し、力士等の意向を聴取することに努めた。

⑤ 土俵の礼儀・作法・立ち合いについて指導した。

⑥ 支度部屋の監視や携帯電話の一時預かり等、故意による無気力相撲の再発防止に努めた。

⑦ 力士等の外部出演等については規制を行い、力士等が相撲に専念するよう努めた。

(ウ)行司の養成

- ① 幕下以下行司の養成は、師匠である年寄が当たった。
- ② 行司として必要な実技指導等は、立行司ならびに行司会委員が当たった。
- ③ 行司全員に月給制による給与を支給し、場所ごとに装束補助費も支給した。
- ④ 平成29年12月末の行司数は次の通りである。

立 行 司	1名
三 役 行 司	4名
幕 内 行 司	8名
十 枚 目 行 司	10名
幕 下 行 司	7名
三 段 目 行 司	3名
序 二 段 行 司	3名
序 ノ ロ 行 司	8名
計	44名

行司の番附編成は、原則として毎年九月場所後の理事会にて、翌年度の階級順位を決めている。

(エ)呼出の養成

- ① 幕下以下呼出の養成は、師匠である年寄が当たった。
- ② 呼出として必要な実技指導等は呼出会委員が当たった。
- ③ 呼出全員に月給制による給与を支給し、場所ごとに装束補助費も支給した。
- ④ 平成29年12月末の呼出数は次の通りである。

立 呼 出	1名
副 立 呼 出	0名
三 役 呼 出	4名
幕 内 呼 出	8名
十 枚 目 呼 出	11名
幕 下 呼 出	7名
三 段 目 呼 出	5名
序 二 段 呼 出	3名
序 ノ ロ 呼 出	4名
計	43名

呼出の番附編成は、原則として毎年九月場所後の理事会にて、翌年度の階級順位を決めている。

(オ)床山の養成

- ① 3等床山以下の養成は、師匠である年寄が当たった。
- ② 床山として必要な実技指導等は、床山会委員が当たった。
- ③ 床山全員に月給制による給与を支給した。

④ 床山数は、定員50名であるが、力士数が12名以上で床山が所属していない相撲部屋に配属するため、臨時的に定員数を超えて採用している。

⑤ 平成29年12月末の人員は次の通りである。

特等床山	2名
1等床山	14名
2等床山	15名
3等床山	8名
4等床山	5名
5等床山	8名
計	52名

床山の等級は、原則として毎年九月場所後の理事会にて、翌年度の等級を決めている。

(2) 相撲教習所の維持運営

(ア) 相撲教習所の規模

相撲教習所は、本館に付設し、面積は702.03平方メートルである。

(イ) 教習内容

年6回本場所毎に力士として登録した新弟子に対し、実技指導及び教養講座を中心に6ヶ月の教習を実施した。

実技では相撲の基本を重点に指導し、教養講座では相撲史、社会、運動医学、修行心得、相撲甚句、コミュニケーション、国語(書道)を教習した。

また、新採用の行司、呼出、床山にも相撲史を教習した。

① 入所生

本年度の入所生は、次の通りである。

一月場所入所生	(356期生)	8名
三月場所入所生	(357期生)	55名
五月場所入所生	(358期生)	6名
七月場所入所生	(359期生)	5名
九月場所入所生	(360期生)	6名
十一月場所入所生	(361期生)	10名
合計		90名

② 卒業生

6ヶ月の教習を終わって卒業したものは、次の通りである。

平成29年度卒業生	卒業人数	卒業日
第352期生(平成28年 五月場所入所生)	9名	1月26日
第353期生(平成28年 七月場所入所生)	5名	1月26日
第354期生(平成28年 九月場所入所生)	5名	6月1日
第355期生(平成28年十一月場所入所生)	4名	6月1日
第356期生(平成29年 一月場所入所生)	6名	9月28日

第357期生(平成29年 三月場所入所生)	53名	9月28日
合 計	82名	

入所数と卒業数の差は、入所日の変更や教習期間中の引退等があったためである。卒業式は、地方場所の都合上、従来通り2期単位で行った。

③ 所長・講師・指導員

所長には、理事の職務分掌により、理事平野兼司(山響)が当たった。

講師は、下記の通りである。

所長、講師、指導員、及び担当講義等は次の通りである。

(授業科目) (講師)

相 撲 史 : 江戸東京博物館元館長 竹内誠氏、相撲博物館学芸員 土屋喜敬氏

相撲甚句 : 国錦こと佐藤耕次郎氏

社 会 : 学校法人日本放送協会学園理事 賀澤恵二氏

運動医学 : 筑波大学名誉教授 三井利夫氏

国語(書道) : 元横浜国立大学教授 渡部清氏

修行心得(話し方) : 一般財団法人NHK放送研修センター講師 岡部晃彦氏

反ドーピングの講義 : 日本医科大学千葉北総病院特任教授 南和文氏

上記の他、修行の心得として、年寄甲山が「力士の心得」と「土俵上の所作」の講義を行った。

実技指導には、年寄関ノ戸・稲川・音羽山・不知火および現役力士では幕下・三段目が当事務は年寄甲山が当たった。

④ 教習の効果

教習の目的は、新弟子に相撲の基本を習得させ、相撲道について理解を深めさせると共に、教養講座を通じて一般常識を養うことにある。本年度もその成果をあげている。

3, 指導普及活動

(1) 青少年、学生に対する相撲の指導奨励

相撲の指導奨励は指導普及部が行っている。指導普及部は学校、一般少年団体、会社等に指導普及部委員を派遣して相撲の指導に当たったほか、日本相撲連盟、学生相撲連盟、青年会議所等と連携を密にし、これ等の行う相撲競技等には積極的に協力し、国技館を無料で使用させたほか、寄附、寄贈を行い相撲の指導奨励に努めた。

(ア) 認定道場

文京針ヶ谷相撲クラブ・立川練成館相撲道場・朝霞相撲練成道場・時津風心身道場・府中住吉相撲道場と緊密な連携をとって一般の相撲指導に当たらせている。

(イ) 相撲道場会員の進級試験および親善相撲大会

毎年夏期に行っている会員の進級試験と親善相撲大会は、8月5日に国技館で行った。

今回の参加者は421名で、内訳は次の通りである。

部別	申込者数	参加者数
少年部	331	303
中学生部	80	50
一般および有段者	75	68
合計	486	421

試合方法は幼稚園児、小学生、中学生、一般有段者毎に勝抜戦により行った。

また、各団体による勝抜戦を行った。

参加者全員に参加賞として手ぬぐいを配布し、父兄付添人を含む全員に昼食を支給した。各々1位より3位までに理事長杯、部長杯、カップ、楯、メダル、バスタオル、禪等を賞品として授与した。

(ウ) 全国都道府県中学生相撲選手権大会

本大会は、心・技・体の習得、相互の親睦と相撲の普及発展を図ることを目的として、すべての中学生に門戸を開き、日本相撲連盟の主催により開催されるものである。

第28回大会は、日本相撲協会と日本財団が協賛し、スポーツ庁と日本中学校体育連盟が後援して、8月6日国技館で開催された。

日本相撲協会は、本大会が永続し、意義あるものとするため、第1回大会時に優勝旗(団体優勝用持ち回り)を日本相撲連盟に寄贈しており、今大会では前大会に引き続き国技館の無料使用、宿泊費の負担、メダル・禪等の寄贈を行った。

(エ) 全国中学校相撲選手権大会

第47回全国中学校相撲選手権大会は、日本中学校体育連盟・日本相撲連盟・大分県教育委員会、宇佐市教育委員会主催の下に8月19日および20日の両日、宇佐市総合運動場相撲場において開催された。

日本相撲協会は、後援者の立場から大会補助金を支出し、優勝旗・優勝楯・横綱模型・メダル・手ぬぐい等の寄贈を行った。

(オ) 相撲部屋の開放

夏期にスポーツ少年団、その他スポーツグループおよび小・中学校の部活動等への単位による団体の相撲練習に協力することを目的として、次の通り相撲部屋を開放した。

① 開放期間 7月31日～8月6日

② 参加人員 延1,086名

③ 開放部屋 9部屋

④ 相撲の指導方法

要請により指導員(年寄)、実技指導員(幕下、三段目力士)がこれに協力した。

⑤ 協会が準備した物

稽古禪 128本 一部希望者には中古禪を寄贈した。

手ぬぐい 349本

⑥ 検討会

最終日、各部屋において成果を検討する会を行った。

(カ) わんぱく相撲の指導奨励

第33回わんぱく相撲全国大会は、日本相撲協会・東京青年会議所が共催し、後援にスポーツ庁・東京都・警察庁・日本商工会議所・日本相撲連盟・日本放送協会・日本青年会議所・読売新聞社・日本PTA全国協議会、墨田区、墨田区観光協会が当たり、7月30日国技館で開催した。大会には経費分担金13,000,000円の支出、国技館の無料使用のほか、行司・呼出等を協力出場させた。

第33回わんぱく相撲全国大会の状況は、次の通りである。

出場チーム数	132チーム
出場選手数	396名
宿泊受入部屋数	39部屋
宿泊人員数	508名(引率者を含む)
一般観覧者数	約10,000名

(キ) 少年相撲教室への指導員派遣

少年に正しい相撲の在り方を指導するため、会場地の市町村教育委員会が主催し、日本相撲協会は日本相撲連盟とこれを後援し、指導者派遣事業と位置づけて全面的に協力した。

本年度は、6月3日より8月30日まで次の通り開催され、指導普及部委員主任、年寄および力士を派遣し指導に当たった。

開催地

福島県河沼郡会津坂下町
福岡県福岡市
長野県佐久市
香川県坂出市
岩手県遠野市
大分県大分市

(ク) 全国小学校・中学校・高等学校相撲指導者および社会体育相撲指導者研修会

本研修会は小学生、中学生、高等学校、大学及び社会体育の指導者に対し、相撲の専門的な知識と技術の充実を図り、その資質向上と相撲の普及振興に寄与するために、スポーツ庁の後援を受け、日本相撲連盟と共催し、8月22日から8月25日まで講義と実技を日本相撲協会相撲教習所および日本相撲協会草津相撲研修道場で行った。

参加人員は次の通りである。

(公財)日本相撲協会(鏡山・中立・甲山・不知火・力士指導員等)	7名
(公財)日本相撲連盟	3名
研修者	20名
合計	30名

費用負担は次の通りである。

- ① 相撲教習所での講習終了までの費用(旅費・宿泊代を含む)は、日本相撲連盟が負担した。ただし、夕食費は、日本相撲協会が負担した。
東京より草津までの往復の費用および研修道場での費用は、日本相撲協会が負担した。
- ② 看板代・写真代等の物件費は、日本相撲連盟が負担した。
- ③ 研修参加者には、日本相撲協会より禪を支給した。

(ケ) 寄附・寄贈

各地で行われる相撲大会等には引き続き積極的に協力すると共に、寄附・寄贈を行い、相撲の奨励と普及を図った。

あわせて、指導普及部が制作した小冊子「大相撲入門編」を、小中学生の相撲大会開催時を中心に寄贈した。

寄附・寄贈した金品および寄附・寄贈先は次の通りである。

① 寄附先および寄附金

第96回東日本学生相撲選手権大会	25,000円(広告賛助)
第91回西日本学生相撲選手権大会	20,000円(〃)
第95回記念全国学生相撲選手権大会	100,000円(〃)
全国高校相撲年鑑第62号	20,000円(〃)
計	165,000円

② 寄 贈 品

優勝カップ	2個(進級試験)
優勝楯	3個(進級試験、全国中学校相撲選手権大会)
禪	185本
手ぬぐい	20,625本
バスタオル	5本
寄贈メダル	2,000個
(寄贈品合計 8,271,022円)	

③ 寄 贈 先

第7回こども未来館相撲大会
第22回ちびっこ相撲泉南場所
第68回全国高等学校相撲新人選手権大会
第6回大鵬杯争奪相撲大会
第39回桜ずもう
第57回全国大学選抜相撲宇佐大会
第58回神戸市内中学校相撲大会
第30回三重県中学校春季相撲選手権大会
第41回三重県少年相撲親善大会
第68回東日本学生相撲新人選手権大会
第67回西日本学生相撲新人選手権大会

第41回桜小学校区子供相撲大会
第55回全国選抜大学・実業団対抗相撲和歌山大会
第36回阿倍野区小学生相撲大会
平成29年度茨城農芸学院相撲大会
第65回関東高等学校相撲大会
第91回西日本学生相撲選手権大会
百万石まつり奉賛第47回親善少年相撲金沢大会
第96回東日本学生相撲選手権大会
第35回草加市青少年相撲大会
第29回京都府アマチュア相撲選手権大会
第17回福岡地区保育園相撲大会
第21回長野県小学生相撲選手権大会
第60回市川市小学校相撲大会
第43回七ヶ町相撲大会
第48回鳥羽志摩中学校相撲大会
第48回鳥羽市小学校相撲大会
第26回鈴鹿市わんぱく相撲大会
第46回西日本実業団相撲選手権大会
ボーイスカウト名古屋西部地区こども相撲大会
第70回東北高等学校相撲選手権大会
第27回福岡地区幼児相撲大会
平成29年度こども園ゆりかごお相撲大会
第55回東日本実業団相撲選手権大会
第12回葛城市ワンパク相撲大会
第32回全十勝小学生対抗相撲選手権大会
平成29年度名古屋場所相撲講座
平成29年度大楠天満宮奉納子供相撲大会
第95回全国高等学校相撲選手権大会
第42回相撲部屋開放
平成29年子ども相撲大会
第47回和白・三苦子ども相撲大会
平成29年学童相撲大会
2017夏休み相撲健康体操
第39回中部日本選抜中学生相撲大会
第44回東日本学生相撲個人体重別選手権大会
第428回大國魂神社四ヶ町八朔奉納相撲大会
第41回関東中学校相撲大会
第62回進級試験及び親善相撲大会
第28回全国都道府県中学生相撲選手権
平成29年加治川少年相撲大会
第12回出水地区ちびっこ相撲大会
第28回合志市ワンパクすもう大会

第5回嘉風相撲大会
平成29年度お盆供養小湊相撲大会
平成29年度六日市場浅間神社奉納子供相撲大会
第66回選抜高校相撲十和田大会
平成29年度市民体育祭夏休み草加っ子相撲
平成29年度 指導者研修会
第47回全国中学校相撲選手権大会
第47回八幡宮少年相撲大会
第56回全国教職員相撲選手権大会
第50回関西相撲選手権大会
第52回関東相撲選手権大会
第23回飯盛神社こども相撲大会
第20回一支國幼児相撲大会
第26回西島杯子ども相撲大会
第11回北宮阿蘇神社少年相撲大会
第35回埼玉県ジュニア相撲選手権大会
第30回県民総合体育大会相撲ジュニア選手権大会
第11回埼玉県中学生相撲選手権大会
第59回選抜高校相撲宇佐大会
第42回全国学生個人体重別選手権
平成29年度斐川町相撲大会
第36回若宮初声っ子相撲大会
第15回因島相撲同好会相撲大会
第33回有喜地区子ども相撲大会
第43回東広島市こども相撲大会
第4回大館北秋田学童新人相撲大会
諏訪大社上社 十五夜祭奉納相撲
第59回全日本実業団相撲選手権大会
第25回成田市小学生相撲大会
第17回小糸少年相撲大会
第58回札幌市民体育大会
第34回少年相撲大会
第31回福岡市民総合スポーツ大会／ 第55回福岡地区青少年相撲大会
第11回前田山記念すもう大会
第39回長野市小学生相撲選手権大会
平成29年わんぱく相撲佐久場所
第25回東北高等学校相撲選抜大会
第31回千葉市ちびっ子相撲チャンピオン大会
第14回全国少年相撲選手権大会
第27回ワンパク相撲大会
第13回玉ノ井部屋相撲大会・玉ノ井杯・相撲教室
第32回九州・山口少年相撲大会

第4回野見宿禰杯鎮守の森こども相撲大会
第112回奄美市笠利町招魂祭相撲大会
平成29年度布鎌惣社水神社秋季大祭奉納相撲
第2回大阪府中学生招待相撲大会
第24回陣幕久五郎わんぱく相撲大会
第45回大山町ちびっこ相撲大会
第95回台覧記念相撲大会
京都市保育連盟こどもおすもう大会八瀬場所
第10代横綱雲龍顕彰記念 第30回少年相撲大会
第6回中間市小学生相撲大会
第95回全国学生相撲選手権大会
第31回草加市学校対抗相撲大会
第4回上越小学校親善相撲大会
第166回野村乙亥大相撲
第66回全日本相撲選手権大会
第30回全日本小学生相撲優勝大会
第11回関東高等学校選抜相撲大会
第38回飛龍旗少年相撲大会
第6回君津市民ふれあい少年相撲大会
第8回新富町長杯九州各県対抗少年相撲大会

(コ) 巡業開催地での地元青少年に対する相撲の指導

各巡業先で、巡業部は幕内力士による地元青少年への相撲の稽古を実施した。
また、参加者に禪を寄贈した。

(サ) 国技館の開放使用

相撲大会等に国技館を無料で開放使用させており、開放状況は次の通りである。

- ① 第96回東日本学生相撲選手権大会
- ② 第33回わんぱく相撲全国大会
- ③ 第62回進級試験親善相撲大会
- ④ 第28回全国都道府県中学生相撲選手権大会
- ⑤ 明治神宮奉納第76回全日本力士選士権大会
- ⑥ 第14回全国少年相撲選手権大会
- ⑦ 第66回全日本相撲選手権大会

(国技館無料開放分の館使用料相当額 合計44,075,000円)

※自己消費分(わんぱく相撲・進級試験等)11,100,000円を含む

(2) 草津相撲研修道場の維持運営

草津相撲研修道場は、当協会関係者の保健・保養等の福利厚生に利用している他
相撲部屋合宿・負傷力士のリハビリの場として利用している。

また、施設を有効活用するために、青少年・学生に対する相撲指導員の相撲研修、青少年・

学生の相撲練習の場として使用している。

4. 相撲記録の保存及び活用

(1) 広報部の運営

(ア) 報道機関はもとより、一般層への情報提供に努め、広報全般の機能向上を図った。

(イ) 協会の外部への派遣・出演を積極的に実現させ、大相撲に関する情報の周知を図りファン層拡大のため、さまざまな企画を実施した。主な企画は以下の通り。

① 1月、5月、9月の本場所開催に際し、普及および広報活動の一環として「相撲塾」を開催した。

本場所	実施日	内容	参加人数
一月場所	1月7日	大山親方「大相撲学の巻」	260人
五月場所	5月6日	大山親方「相撲節会」	260人
九月場所	9月9日	大山親方「土俵について」	250人

計770人 (H28:770人)

② 日本相撲協会公式ツイッター (@sumokyokai) を通じ、大相撲に関する様々な情報を発信。フォロワー数(登録者数)は、この一年間で7万人増え、約33万人に達した。

③ 日本相撲協会公式LINE (@sumokyokai:H25・4月開設) では、大相撲に関する親しみやすい情報を発信。若年層を中心に登録者約18.2万人(H28年約14.7万人)に達し、内本場所来場者には趣向をこらしたプレゼント企画を実施した。

④ 日本相撲協会公式 Instagram (@sumokyokai) を9月に開設し、大相撲に関する情報発信をより充実させ、ファン層の拡大を図った。フォロワー数は、1.3千人。

⑤ 日本相撲協会公式キャラクター「ハッキョイ! せきトリくん」プロジェクト企画を積極的に推し進め、着ぐるみ「ひよの山・赤鷲」の本場所企画への出演を実施した。また、関連グッズのリニューアル、新商品の開発を強化し、本場所館内、ネットでの販売を実施。キャラクターの認知度向上に努めた。

⑥ 日本相撲協会公認ソーシャルゲーム「大相撲カード決戦」(SNS) 配信については、内容を充実させ、高いアクティブ率と継続率を有し、長期サービスを達成。また、3月よりスマートフォンアプリ「大相撲ごっつあんバトル」を配信開始。幅広い年齢層のユーザーから好評を得ている。

(ウ) 記録映像の制作

国内・国外からの映像使用依頼に対し、映像の制作およびダビング作業を行った。また、引き続きダイジェスト版の制作を行った。

① 博物館に協力しDVDを提供した。

② 相撲普及に努め、相撲協会ホームページおよび携帯サイトと連携してYouTubeに各場所のPR映像を配信した。(五月場所分まで)

③ その他、制作した映像は次の通りである。

一月、三月、五月、九月場所のハイライト(各場所維持員会用)

七月、十一月ハイライト(本場所取組後上映用)、海外向け映像の貸し出し

(エ) 記録映像のハイビジョン映像化

保存映像の改修等ハイビジョン映像切替を引き続き行い、映像の内容調査を実施し、内容の充実を図った。

① フィルム映像をハイビジョンに変換した映像は次の通りである。

16mm 昭和37年 7月場所

16mm 昭和40年 5月場所 7月場所 11月場所

16mm 昭和41年 9月場所

16mm 昭和42年 9月場所 11月場所

16mm 昭和45年 1月場所 3月場所 5月場所 7月場所 9月場所 11月場所

② 本年度、記録映像の内容調査を実施したものは次の通りである。

16mm 昭和37年 7月場所

16mm 昭和38年 7月場所

16mm 昭和40年 5月場所 7月場所 11月場所

16mm 昭和41年 9月場所

16mm 昭和42年 7月場所 9月場所

16mm 昭和44年 7月場所 9月場所

16mm 昭和45年 1月場所 3月場所 5月場所 7月場所 9月場所

③ PCに調査内容を入力したものは次の通りである。

XDCAM 平成27年十一月場所～平成29年九月場所

(以上は編集時に入力したデータの修正を行った)

(オ) 記録映像のデジタルアーカイブ

27年度より映像のアーカイブ化をスタート

ファイル管理することにより映像の破損、劣化をなくし整理することが出来る。

本年度よりテープ素材のファイル変換アーカイブ作業を進めている。

(カ) 協会員の肖像権

「協会員の肖像権に関する規定」により、力士その他協会員の肖像権を協会が管理・運営・保全を目的に運營業務にあたった。また、協会員の外部出演や広告出演および名称・肖像を利用した商品化契約や出版物に関し、基本概要を整備し協会員に改めて周知徹底した。

(キ) インターネットによる情報提供

大相撲関連情報をインターネットによる公式ホームページにて情報公開し、本場所関連情報の周知拡大のためページビューの増加を図った。

(ク) 各種申請に関して

国内外メディアよりの取材、出演、映像使用依頼申請等に応じ、迅速に対応した。
 本年度の各種申請書の取扱い状況は、次の通りである。

申込件数 3,899件

受理承認件数 3,808件

《内 権料発生件数 取組映像使用、ダビング料、画像・写真貸出件数 1,558件》

不承認件数 91件

(ケ)その他広報活動

大相撲の新たな魅力を見だし、一般企業のキャンペーンへの協力を積極的に行った。
 協会員の肖像利用、協会員の派遣、本場所入場券販売を含め企業キャンペーンと大相撲
 の融合を図った。

(2)相撲道に関する出版物の刊行

(ア)ベースボールマガジン社による日本相撲協会機関誌「相撲」を刊行した。

本年度の刊行状況は以下の通りである。

*年間実売部数:170,074部(前年度:150,489部 19,585部増)

月号	発売日	定価	実売部数	月号	発売日	定価	実売部数
1月号	1月4日	1,050	14,648	7月号	6月29日	1,000	12,809
2月号	1月28日	930	15,830	8月号	7月27日	930	10,720
3月号	3月2日	1,000	16,157	9月号	8月31日	1,000	20,096
4月号	3月30日	930	14,801	10月号	9月28日	930	10,350
5月号	5月8日	1,050	18,225	11月号	11月2日	1,000	12,119
6月号	6月1日	930	11,519	12月号	11月30日	1,030	12,800

(イ)本場所ごとに発行しているパンフレットは、力士紹介や本場所企画に加えて、大相撲の
 潜在的な価値を見だし、より魅力的な冊子に編集した。さらに、英訳解説を付記し、
 外国人観戦者の利便性を高めた。

平成29年度は合計:226,270部(前年度:205,205部 21,065部増)

本場所	発行部数	本場所	発行部数
一月場所	42,055	七月場所	24,170
三月場所	55,030	九月場所	48,000
五月場所	45,355	十一月場所	11,660

(ウ)主に相撲博物館の来場者用に外国人を対象とした小冊子「The SUMO」、和文「大相撲」
 を販売した。29年の販売部数は英文パンフレット「The SUMO」:2,856部、和文パンフ
 レット「大相撲」:72,663部。

(エ)11月、大相撲普及および広報活動の一環として大相撲カレンダー(7枚綴り)を製作し、
 販売した。好評につき完売。製作部数は49万部(H28年46.7万部 2.3万部増)と増加。
 大手コンビニチェーン(店舗、ネット)での販売をはじめ、更なるネット販売の拡充に務め、
 製作部数は確実に増加し、何より一般販売の利便性が高まった。

(3) 相撲博物館の維持運営

(ア) 相撲博物館の規模

相撲博物館は本館に付設し、面積は1階が388.9平方メートル、地下部分が196.7平方メートル、合計585.6平方メートルである。

(イ) 庶務の状況

相撲の起源や歴史の究明に当たったほか、次の事項を行った。

- ① 電話・手紙などによる相撲関係の質問の回答を行った。
- ② 十両昇進力士・改名力士に対し、手形の寄贈を依頼し、資料として保存するように努めた。
- ③ 日本相撲協会のホームページ上の相撲博物館のページで展示紹介を行った。
- ④ 増加する資料に対応するため、収蔵庫・書庫の整理をさらに進め、資料の保存・管理態勢の強化を行った。
- ⑤ 当館所蔵の美術資料3,033点、雑誌18タイトルのデジタル撮影を実施した。

(ウ) 資料の展示

① 館内展示室での資料展示

館内展示室に次の通り資料を展示し、無料公開した。

なお、今年度の入場者は83,482人

(うち外国人入場者12,510人)であり、団体(30名以上)入場者は76組3,496人である。

展示月	展示テーマ	展示点数
1月～2月	衣装に見る大相撲の世界	100点
3月～4月	手形 Rikishi's palm print	115点
5月～6月	横綱	119点
7月～8月	大相撲ってなんだろう? ～テレビに映るものごと～	167点
9月～10月	道産子力士	136点
11月～12月	俳句・川柳にみる江戸の相撲	83点

展示室の常設モニターで、展示内容に関連するものなど、下記の映像を放映した。

放映作品	放映期間
平成28年十一月場所ハイライト	1月4日～ 2月17日
平成29年一月場所ハイライト	2月21日～ 4月15日
稀勢の里 横綱昇進	4月25日～ 6月16日
平成29年五月場所ハイライト	6月20日～ 8月10日
北海道出身 横綱	8月21日～10月20日
三段構え・横綱五人掛かり	10月24日～12月26日

② 館外貸出展示

博物館資料の貸出を次のように行った。

貸出先	展覧会名	開催期間	主な貸出資料	点数
秩父宮記念スポーツ博物館	常設展(通年)	1月1日～12月31日	化粧廻し・番付・人形	14
葛城市相撲館	常設展(通年)	1月1日～12月31日	笠置山関係資料・番付	17

雲龍の館	常設展(通年)	1月1日～12月31日	弓取り力士化粧廻し・明荷	2
横綱柏戸記念館	常設展(通年)	1月1日～12月31日	柏戸剛使用の雲龍型横綱	6
備前長船刀剣博物館	大相撲と日本刀展(巡回展)	1月27日～3月26日	刀剣類・横綱・化粧廻しほか	75
大阪歴史博物館		7月8日～8月28日		
坂城町鉄の展示館		9月7日～11月5日		
横綱柏戸記念館	常設展(通年)	3月8日～12月31日	稀勢の里寛横綱姿(データ提供)	1
守門民俗文化財館	常設展	4月1日～12月31日	25代木村庄之助	1
航空科学博物館	PANAM～日本就航70年～	6月1日～7月23日	パンアメリカン航空賞トロフィー	1
深川江戸資料館	北海道の名横綱～大鵬・北の湖・千代の富士～	7月1日～7月17日	本場所ポスター・引退相撲パンフレット・書など	10
稲敷市立歴史民俗資料館	横綱と茨城の力士	7月29日～9月28日	鹿島灘ほか(データ提供)	14
丸山晚霞記念館	雷電為右衛門生誕250周年記念 スーパースター雷電と浮世絵で見る江戸時代	7月29日～9月24日	雷電関係資料・錦絵・歴代横綱(データ提供)ほか	122
佐賀市八戸町公民館	常設展	8月1日～12月31日	佐賀ノ花関係資料・番付・手形(データ提供)	10
青森市中世の館	大相撲フェスティバル	8月12日	西岩忍(データ提供)	1
愛媛県歴史文化博物館	相撲の歴史と民俗一館蔵品を中心に	9月30日～11月26日	前田山横綱姿ほか(データ提供)	21
栃木県さくら市 瀧澤家住宅内 鐵竹堂	桜と大相撲	9月9日～10月1日	琴櫻傑将化粧廻し姿ほか(データ提供)	42
中津川苗木遠山史料館	ふるさと中津川の先人 前田青邨	10月7日～11月5日	佐田の山晋松使用の化粧廻し(データ提供)	1
世田谷文学館	澁澤龍彦 ドラコニアの地平	10月7日～12月17日	旧国技館内観ほか(データ提供)	2
千葉県立文書館	房総相撲博覧会	10月20日～平成30年3月10日	錦絵・鳳関係資料ほか(データ提供)	78

③ 資料の閲覧・掲載・撮影

相撲研究家、愛好家、報道関係者等の資料の閲覧・掲載・撮影に協力した。資料の閲覧は61件である。資料の掲載・撮影は広報部の許可を受けたものに限り、画像データ・ポジネガフィルムの貸出は広報部が行い、撮影はカメラによる直接撮影のみとした。掲載・撮影は87件である。

④ 資料の収集

力士・年寄・相撲愛好家・相撲研究家等より資料の寄贈を受けた。寄贈件数は397件である。

⑤ 保存資料

12月末現在で相撲博物館に保存されている資料は、次の通りである。

歴史資料	17,450点
歴史図書	7,364点
歴史写真	7,292点
計	32,106点

C その他の事業

1, 年寄、力士および行司等の福利厚生

(ア) 相撲診療所

相撲診療所は国技館地下1階に付設し、面積は715.2平方メートルである。

相撲診療所は協会員とその家族ならびに一般患者の診療に当たるほか、東京本場所中は観客や場所関連従事者などの診療を行った。

日本相撲協会健康保険組合と連携して、力士は2月、8月の年2回、他の職員は年1回の定期健康診断を行い、病気の早期発見、早期治療を目的として協会員の健康管理に努めた。また、協会員全員とその家族を対象として、インフルエンザの予防ワクチン接種を行った。

力士を対象として重点的に実施した診療

実施内容	対象者
心臓の精密検査(心臓超音波)	平成29年度 新弟子入門検査合格者全員 心臓の継続的精密検査管理力士
B型肝炎予防ワクチン	平成29年度 新弟子入門検査合格者全員 B型肝炎抗体陰性力士
破傷風予防ワクチン	平成29年度 新弟子入門検査合格者全員
麻疹予防ワクチン	平成29年度 新弟子入門検査合格者の中で抗体陰性者

平成29年1月1日から平成29年12月31日の外来診療受診者数

	力士	力士以外の協会員	協会員家族	一般	合計
受診者数	3,388	2,161	186	1,263	6,998

定期健康診断受診者数

		力士	年寄	その他の協会員
受診者数	2月	576	54	196
	8月	548		

日本相撲協会健康保険組合の被保険者および扶養家族の診療費は、福利厚生の一環として、徴収はしていない。

① 業務上の治療費

力士等が稽古、本場所を通じて土俵上で負った業務上の怪我等については個人負担分30%、および残額の全てを協会が負担した。

② 定期健康診断

協会員全員の健康管理のため定期健康診断を行った。

(イ) 力士養成員については、全員を健康保険および厚生年金保険に加入させ、保険料全額を負担した。

(ウ) 助成金

親睦団体である年寄会・力士会・行司会・若者頭会・世話人会・呼出会・床山会・さくらの会

(職員等)にそれぞれ助成金を支出した。

2, その他の活動

(ア) 心身障害児のための福祉大相撲

2月11日に国技館で行われたNHK厚生文化事業団主催の「第50回NHK福祉大相撲」を後援した。これは、NHKより全国に放送された。

(イ) 寄附金

内訳は次の通りである。

福岡県	九州豪雨義援金	10,000,000円
糸魚川市	糸魚川大火支援金	1,000,000円
伊勢神宮	玉串料	200,000円
明治神宮	玉串料	1,800,000円
住吉大社(大阪)	玉串料	100,000円
住吉神社(福岡)	玉串料	100,000円
富岡八幡宮	玉串料	1,000,000円
自治医科大学	肝炎研究寄附金	750,000円
合計		14,950,000円

(ウ) 復興慰問

春巡業の途中、釜石市では、東日本大震災復興を祈願し、土俵入を行った。

(エ) 相撲健康体操の普及事業

① 8月の夏休み期間中に国技館で第10回「夏休み!!相撲健康体操」を年寄、幕下指導員とともに実施。15日間で約2,900名が参加した。

(オ) 「大相撲伝」「大相撲入門編」の配布

大相撲のもつ文化的側面やその様式美に関する認識を周知するため、また、子どもから大人まで理解出来るように、漫画形式の冊子として「大相撲伝」と「大相撲入門編」を作成し、一般に配布した。

Ⅲ. 法人の運営・管理

1. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開会年月日	主な決議事項
平成29年1月25日	大関 稀勢の里を横綱に推挙する件
平成29年1月26日	役員待遇委員・委員・主任の銓衡の件 三段目附出し承認の件 定款一部変更の件

平成29年3月10日	鳴戸部屋新設および佐渡ヶ嶽部屋力士転属の件 平成28年度事業報告および決算書類承認の件 力士誓約書改訂の件
平成29年3月24日	年寄名跡春日山を勢こと東口翔太が継承すること
平成29年5月12日	朝赤龍(本名バダルチ・ダシニャム)が引退と同時に、年寄錦島を継承および襲名する件
平成29年5月12日	佐田の富士(本名山本哲博)が引退と同時に、年寄中村を一時的に襲名する件
平成29年5月31日	関脇 高安の大関昇進の件
平成29年6月1日	年寄大島こと太田勝による友綱部屋継承の件 国技館改修工事に関する契約の件 京楽産業ホールディングスに対して名称等利用許諾解除の申し入れを行う件
平成29年7月14日	第2期 国技館改修工事の件
平成29年7月27日	行司・若者頭・世話人・呼出・床山の誓約書制定の件 第2期国技館改修工事の件
平成29年9月14日	国技館改修2期工事に関する施工会社および監理会社選定の件
平成29年9月28日	行司・呼出・床山の番附編成の件 「平成29年7月九州北部豪雨」被災地への寄附金の件
平成29年11月11日	博物館館長再任の件 定款一部変更の件 評議員会規則 一部変更の件
平成29年11月30日	西岩部屋新設および力士等転属の件 平成30年度事業計画承認の件 平成30年度予算書類承認の件 協会の広告出演・肖像を使用した商品化に関する基本運用の件 平成31年度及び平成32年度の巡業日程の件 国技館改修1期工事に関する調査委員会設置の件
平成29年12月20日	定款、賞罰規定等に基づく処分等の件

平成29年12月28日	暴力問題に関する「再発防止検討委員会」設置の件 翔天狼が引退して年寄「春日山」を一時的襲名する件
(2)評議員会	
開会年月日	主な決議事項
平成29年2月9日	定款一部変更の件 退職金等支給規程制定の件
平成29年3月31日	平成28年度事業報告および決算書類承認の件 役員等報酬規程一部変更の件
平成29年11月20日	定款一部変更の件、評議員会規則一部変更の件
平成29年12月28日	(報告のみ)

(3)横綱審議委員会

横綱審議委員会は、本場所千秋楽翌日に開会した。

また、横綱審議委員会による稽古総見の一般公開を5月3日に行った。

2, 維持員制度の維持運営

(ア)維持員会会長

全国維持員会会長は理事中山浩一(尾車)が担当した。

(イ)維持員制度のさらなる充実について

維持員の活動をより一層推進すべく「維持員との集い」と称し、会合および懇親会を開催した。

実施地区	実施日	実施内容
大阪	平成29年2月28日	《会合》 維持員券の転売について 維持員席の利用について 《懇親会》 意見交換会
東京	平成29年5月2日	《会合》 維持員券の転売について 維持員券の利用について 《懇親会》 意見交換会
名古屋	平成29年6月27日	《会合》 維持員券の転売とそれに伴う 維持員規程の改定について 維持員券の利用について 《懇親会》 意見交換会
福岡	平成29年10月31日	《会合》 維持員券の転売とそれに伴う 維持員規程の改定について 維持員券の利用について

3. 国技館の維持運営

(ア) 国技館の建物改修に対する備え

国技館の老朽化に対しては、全面建替えを踏まえて、再取得に必要と認められる金額を基に、資金状況を勘案し、特定資産の減価償却引当資産として積立を実施した。

なお、当面の改修工事に備え、国技館改修基金として必要な額の積立を実施した。

(イ) 国技館は場内を禁煙とし、東京本場所に使用するほか、支障のない範囲で相撲大会およびその他に、無料又は有料にて開放使用させた。

本年度の館貸状況は次の通りである。(日数は延日数)

区分	有料		無料		合計	
	件数	日数	件数	日数	件数	日数
アリーナ	51	111	10	21	61	132
大広間	19	39	4	8	23	47
合計	70	150	14	29	84	179

※「無料」には、NHK福祉大相撲、全日本力士選士権大会、進級試験を含む。

(ウ) FMラジオによる実況中継

国技館内にラジオ放送設備を設け、館内の観客を対象にラジオによる実況中継を行った。

4. 暴力団等反社会的勢力の排除の徹底

「暴力団等排除宣言」に基づき、協会と取引をしている各業者から、暴力団等反社会的勢力ではないことや関係がないこと等の表明・確約の提出を受け、暴力団等の排除を推進した。さらに東京都暴力団排除条例施行に伴う「暴力団を恐れない、暴力団に金を出さない、暴力団を利用しない、暴力団と交際しない」等の理解を図るため資料を配付し、暴力団等排除の恒久化を進めた。

5. 重要な契約に関する事項

日本放送協会と本場所の放送権料に関する契約を締結した。

6. 正味財産増減の状況並びに財産の状態の推移

(単位:百万円)

事業年度	平成25年度	平成26年度			平成27年度	平成28年度	平成29年度
		1月1日～29日	1月30日～12月31日	計			
経常収益	10,777	1,648	9,015	10,664	11,460	12,016	12,640
経常費用	▲ 10,624	▲ 895	▲ 10,344	▲ 11,240	▲ 11,108	▲ 11,390	▲ 11,746
当期経常増減額	153	753	▲ 1,329	▲ 576	352	626	894
評価損益	-	-	501	501	▲ 106	14	▲ 32
経常外収益	45	-	-	-	-	-	0
経常外費用	▲ 318	-	▲ 2	▲ 2	▲ 33	▲ 1	▲ 30
正味財産増減額	▲ 121	752	▲ 830	▲ 78	213	638	831
資産合計	42,299	42,779	42,897	43,572	43,953	44,900	

負債合計	5,909	5,636	6,585		7,049	6,792	6,909
正味財産	36,390	37,143	36,312		36,523	37,161	37,991

注－1)平成29年度の数值は、理事会承認前の「見込み額」であり、最終的に承認される数值と差異が発生することがあり得る。

IV. 法人の課題

1. 相撲文化の普及

土俵の充実こそが、相撲文化普及のための原点ととらえ、力士が相撲に集中できる環境を整えた。また、巡業開催地の増加、新規開催地の設定により、相撲文化の普及に努めた。例年通り、各地で開催される子供相撲を中心とした相撲大会への支援を積極的に行った。

2. 事業収支の安定化

相撲文化の普及および来場客への様々なイベントやサービス、広報宣伝を通して、入場券販売促進に努めた結果、本場所開催90日全日が満員御礼となった。一方で、各種費用の適正化を図ることにより、協会全体の最終利益が前年比130%を超え、余剰利益による先行投資が可能となった。

3. 国技館の維持管理

老朽化している国技館を維持管理するための第2期改修工事について、施工会社と監理会社を適正な手続きにより決定し、工事を開始した。また、将来の国技館建て替えに備え、毎年、余剰金の中から適正な積立を行うことを決定した。

4. 新規委員会の立ち上げ

資産維持活用検討委員会を立ち上げ、改修工事施工会社の入札について専門的な調査を丁寧に行ったほか、取組映像アーカイブシステムの導入や、博物館の貯蔵品のデータ化など、相撲文化を維持するための新たな投資や、元本保証のための高い安定性を保ちながらも今以上の利息収入が見込める資金運用方法等を検討した。

5. 法令順守の徹底

公益法人として、より法令に遵守し適正な運営を図るため、随時、諸規程・規則の見直しを行った。また、年寄と締結している「人材育成業務委託契約書」の内容を改訂し、再契約した。年寄を除く全協会員に対しては、協会員として守るべき精神やルールについて具体的に定めた「誓約書」「肖像権に関する確認書」を提示したところ、対象者全員が署名し提出した。

6. 暴力問題発生に関する対応

10月下旬に発生した横綱日馬富士による暴力問題について、11月14日より高野外部理事を委員長とする危機管理委員会が綿密な調査を実施。11月30日の理事会で中間報告を行い、12月20日の理事会で最終報告を行った。日馬富士については、11月29日に引退を届け出、12月20日の理事会では、再発防止の観点から「引退勧告相当の懲戒処分」であることを決定した。12月28日の理事会では、再発防止検討委員会を設置することを決定した。

7. 内部統制の強化

(1) 規程・方針の制定について

組織の統制を図るための方針、規程の制定を随時行った。

内部統制に関する基本方針	組織規程
倫理規定	経理規程
リスク管理規程	事務局処務規程 等

(2) 研修会の実施

① 4月27日「社会人として守るべきルール・マナーについて」

対象 協会員全員 場所 国技館

「各種不法事案排除の総合的対策」(違法薬物・賭博・暴力団排除)の講演

元警視庁組織対策部長 頼本和也氏

「ファンの期待に答えるということ～」の講演

元WBC2017侍ジャパン代表監督小久保裕紀氏

「協会員・誓約書」(新規施行)説明会

弁護士 上杉昌隆氏

冒頭の挨拶には、スポーツ庁長官 鈴木大地氏を迎えた。

② 11月28日「暴力問題の再発防止について」

対象 十両以上の力士 場所 福岡サンパレス

元横綱日馬富士の暴力問題を受け、八角理事長が講話を行った。

③ 12月21日「暴力問題の再発防止について」

対象 協会員全員 場所 国技館

高野利雄危機管理委員長が日馬富士による暴力事件の経緯を説明し、再発防止を訴えた。

冒頭には評議員池坊保子氏が挨拶し、後段では八角理事長が講話を行った。

8. 他、公益法人としての活動

九州豪雨災害に関し福岡県に義援金1千万円、糸魚川市の大火に関し糸魚川市に支援金1百万円を寄附した。

地域活動としては、4月29日、30日の「両国にぎわい祭り」開催の際、国技館を開放し、バックヤードツアーなどのイベントを開催、好評を得た。

また、実践女子大学との産学連携の取り組みをスタート

V. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

該当事項なし